



2025年3月25日

各位

会社名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード: 186A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

ドッキングプレートの商業契約獲得に関するお知らせ

当社の英国連結子会社である Astroscale Ltd (以下、ASUK) が、Airbus Constellations Satellites SAS (以下、Airbus Constellations Satellites) から、軌道上サービス用の第2世代ドッキングプレートの大規模商業契約を初めて獲得したことをお知らせいたします。本契約に基づき、ASUK は 100 個以上のドッキングプレートを納品し、これらは Airbus Constellations Satellites が製造し、商業コンステレーション事業者が運用する低軌道 (LEO) 衛星に搭載されます。このドッキングプレートの搭載により、End-of-Life (EOL) サービスを通じた衛星の除去が可能になるため、顧客は運用上のリスクを低減し、適用される規制への遵守を促進することができます。

この契約は、宇宙の循環型経済のための喫緊のニーズに応えるという当社の革新的なアプローチに対する業界の評価が高まっていることを示す重要なものです。当社グループの第2世代ドッキングプレートは単なる製品ではなく、その採用は軌道上サービスの用途拡大に向けた重要な一歩であり、当社事業の長期的な成長を牽引する EOL サービスへの関心の高まりを如実に示しています。

1. 受注内容

顧客 : Airbus Constellations Satellites SAS
受注金額 : 2024年4月期の連結売上収益の10%未満であり、軽微です。
納期 : 2026年4月期から分割で納品を開始し、2026年6月までに完了予定
サービス : 将来の EOL サービス用のドッキングプレート

本契約につきまして、2025年3月24日(英国時間)に合意決定のうえ締結いたしました。なお、その他具体的内容につきましては、契約相手方の意向を踏まえた守秘義務から、非開示といたします。

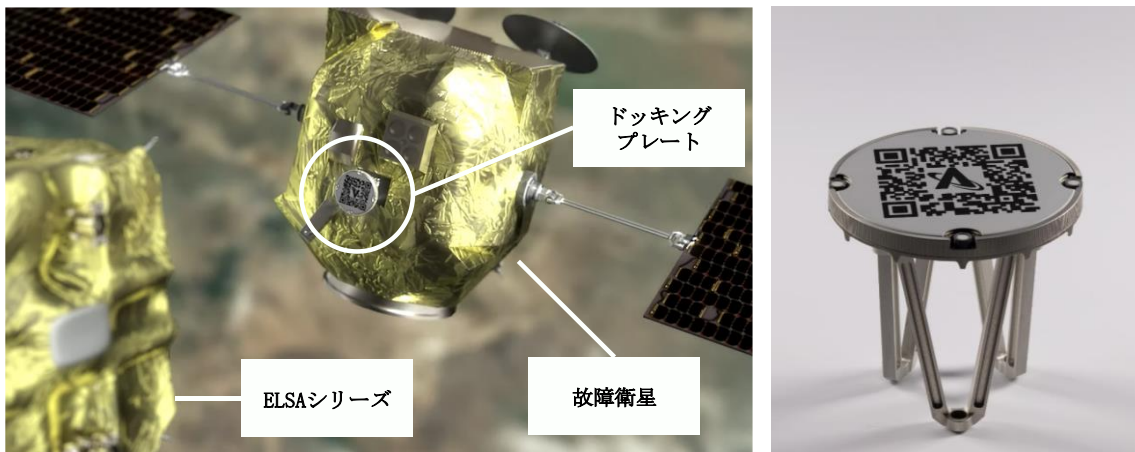
2. ドッキングプレートの概要

当社グループは、軌道上のデブリに起因する課題に対処するため、軌道上サービスを簡素化し、磁気捕獲による EOL 除去を可能にするよう設計された、将来性のあるドッキング技術を衛星に搭載しています。当社グループの第1世代のドッキングプレートの技術は、2021年の ELSA-d ミッションで軌道上でのテストに成功し、現在、当社グループの EOL サービス衛星 (ELSA シリーズ) の磁気捕獲システムと互換性のあるドッキングプレートが軌道上にある 569 基の商業衛星に搭載されており、当社グループのサービスは、顧客の物体を簡単かつ安全に識別、接近、捕獲することができます。

第2世代ドッキングプレートは、第1世代ドッキングプレートの改良版であり、性能も保証されています。この第2世代ドッキングプレートは、現在、飛行実績のある技術成熟度レベル (TRL) 9※であり、堅牢な素材を使用し、柔軟な特性を提供することで、商業顧客のニーズに応えます。このドッキングプレートは国際的なベストプラクティスに沿ったものであり、新しい衛星が持続可能性と保守性を念頭に置いて設計されていることを保証する上で非常に重要です。顧客のニーズに合わせてカスタマイズ可能な当社グループのドッキングプレートを打上げ前に衛星に取り付けることで、将来的に当社グループの

EOL サービスを利用できるようになります。

Airbus Constellations Satellites は、Airbus Defence and Space 社傘下の LEO 衛星コンステレーションの設計・製造に特化した専門会社です。Airbus Defence and Space 社は、2024 年に Zero Debris Charter (ゼロデブリ憲章) に署名しました。これは、軌道上サービスと持続可能な運用終了時の宇宙機管理について、業界全体のコンセンサスを確立するための重要なステップです。Airbus Constellations Satellites の LEO コンステレーション衛星フライトモデルは 2025 年に複数打ち上げられる予定であり、100 個以上のドッキングプレートの受注は、顧客の保守性を向上させる重要なマイルストーンであり、宇宙業界の大手企業によって当社グループの第 2 世代ドッキングプレートが初めて大規模かつ商業的に採用されたことを示します。さらに、Airbus Constellations Satellites によるドッキングプレートの採用は、同社の宇宙の安全性と長期的な持続可能性の促進へのコミットメントを体現しています。



第 2 世代ドッキングプレートの詳細については、当社の[ウェブサイト](#)をご覧ください。

(※)技術成熟度レベル (TRL) は、特定の技術の成熟度レベルを評価するために使用される一種の測定システムです。TRL には 9 段階あります。TRL 9 は最高レベルであり、ミッションの成功を通じて実際のシステムが「飛行実証済み」であることを意味します。

3. 今後の見通し

本受注は、2025 年 4 月期通期の連結業績予想の前提に含めておりません。現時点において本契約が連結業績予想に与える影響は軽微と考えています。本件に関するプロジェクト収益は、各納品時に計上される予定です。

以上